

1. 件名：「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設及び濃縮施設の安全性向上評価に係る面談」

2. 日時：令和6年1月24日(水) 13時30分～17時40分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV 会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

古作企画調査官、中野上席安全審査官、大岡主任安全審査官、野村主任安全審査官、藤原主任安全審査官、小野安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

核燃料施設等監視部門

金子統括監視指導官

技術基盤グループ

システム安全研究部門

森上席技術研究調査官、山口副主任技術研究調査官

シビアアクシデント研究部門

横塚副主任技術研究調査官

日本原燃株式会社

安全・品質本部 副本部長 他2名

再処理事業部 再処理工場 技術部 保安管理課長 他2名

燃料製造事業部 燃料製造建設所 保安管理課長

濃縮事業部 ウラン濃縮工場 濃縮運転部 運営管理課長 他1名

三菱原子燃料株式会社

安全・品質保証部 安全法務課 課長 他1名

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

環境安全部 安全技術ユニット ユニットリーダー

原子燃料工業株式会社

熊取事業所 安全管理グループ参事

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から、令和5年11月1日の面談を踏まえ、再処理施設、MOX 施設及び濃縮施設における安全性向上評価の運用を見越した記載方針、リスク評価等の検討状況について、当日の提出資料に基づき説明があった。

なお、他のウラン加工事業者も含めて安全性向上評価に係る取組の情報共

有を行った。

(2) 原子力規制庁から主に以下の点を伝えた。

- ・再処理施設及び MOX 施設については、リスク評価等の準備に時間が掛かるタスクは各評価項目の重要性、検討事項の物量等を明確にしたうえで計画的に進めること。それぞれのタスクの検討状況を共有することを目的に面談を実施しているため、そのタスクの全体計画との関係を明確にしたうえで、面談までに実施した検討内容を説明すること。
- ・濃縮施設については、届出に向けて整理を進めている状況であり、他のウラン加工事業者と情報を共有して連携を図って計画的に進めること。届出の準備作業において不明な点があれば、適時面談の実施を申し出ること。

(3) 日本原燃から、本日の面談を踏まえて対応する旨の回答があった。

6. その他

提出資料

「再処理施設および MOX 燃料加工施設における安全性向上評価の取組みについて」

「再処理施設および MOX 燃料加工施設に係るリスク評価の実施スケジュール(案)」

「ウラン濃縮加工施設の安全性向上評価の記載方針について」

参考

- ・令和5年11月1日 日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設及び濃縮施設の安全性向上評価に係る面談

<https://www2.nra.go.jp/data/000458071.pdf>